《学校・家庭・地域をつなぐ「学校だより」》 **令和８年度６月号**【丹波篠山市立西紀小学校】

和輪話 にしきのわ

～地域が育て，地域が育つ学校～

西紀小学校
〒669-2716
兵庫県丹波篠山市乗竹650
TEL：079-593-0024
FAX：079-593-0249
Email：el-nishiki@school.sasayama.jp
（文責：藤原典英）

～「風の人」と「土の人」が和して一地域全体で子どもを育てる～

六月に入り，校庭の木々の緑が一段と深まってまいりました．あじさいが雨に濡れながら，少しずつ色づきはじめています．梅雨どきの少し重たい空気の中にも，季節のうつろいを感じる毎日です．保護者の皆様，地域の皆様の温かい御支援に，心より感謝申し上げます．

さて，毎年四月の職員室に立つと，私はいつも「学校には風が吹いている」と感じます．公立学校の教員は，一つの学校に長くは勤めません．早ければ三年，どんなに長くても十年経つまでには，多くの場合，次の学校へと異動していきます．新しい先生が新しい眼差しを運んで来て下さり，別の先生は別の地で風となっていかれる．子どもたちもまた，その風を受けながら，毎年少しずつ姿を変えていきます．つまり私たち教員は，地域から見れば「風の人」なのだと思います．

風には風の良さがあります．外から新しい教育観や授業のアイディアを運んで来ること，長く居る方には当たり前に見える風景を，新鮮な発見として受け取れること．けれども，風として吹き抜けていくということは，深く根を張れないということでもあります．地域の歴史や，世代を越えて受け継がれてきた小さな約束事には，風はなかなか届きません．

一方，このまちには，何十年も，あるいは何世代にもわたって根を張り続けて下さっている方々がおられます．地域の皆様は，このまちの「土」です．晴れの日も雨の日も西紀っ子を見守って下さる方々，学校だよりを各家庭へ届けて下さる自治会の皆様，地域の行事を毎年丁寧に支えて下さる方々．長く同じ場所に在り続けて下さるからこそ，子どもたちの心の中に「この場所は安心だ」という確かな土台が育っていきます．これは「風」には出来ないことです．

以前，ある本の中で，玉井袈裟男という方の言葉に出会いました．

> 君　風性の人ならば　土に向って吹く風になれ　　君が　土性の人ならば　風をよびこむ土になれ
>
> ※『風土舎』設立宣言より

風と土は，本来まったく異なる性質をもっています．けれども玉井は，両者を対立としては描いていません．風が土を求め，土が風を呼びこむ．互いの違いを認め合い，互いを必要として向き合うところに，初めて文化が生まれるのだ，と語っています．

かつて東井義雄先生は，「村を育てる学力」という言葉を残されました．子どもが学校で身につけた力が，やがて地域を育てる力として還っていく．その根っこに在るのは，まさに長く地域に根を張ってこられた「土の人」のまなざしだと考えています．

四月号でもお伝えした通り，学校は地域の中にあるのではなく，地域と共にあるのだと考えています．子どもという一本の木は，学校という風だけでも，地域という土だけでも，大きくは育ちません．風と土が和し，互いに栄養を注ぎ合ってこそ，西紀っ子の根は深く，広く，のびやかに伸びていきます．それが結果として，一人ひとりが「在りたい自分」を創っていくことにつながるのだと考えています．

私自身も「風の人」の一人として，この西紀の地に心地よい風を吹かせる存在でありたいと願っています．そして，地域の皆様という豊かな「土」と和しながら，子どもたちを真ん中に置いて，共に育てていけたらと考えています．子どもは未来からの預かりもの，地域みんなの宝です．これからも，西紀っ子の健やかな根を，地域全体で育てていきたいと考えています．御理解と御協力を，何卒宜しくお願い致します．

◎「縦」と「横」のつながりの中で～五月の運動会にこめた願い◎

五月晴れの空の下での運動会，子どもたちは最後まで力を出し切りました．一生懸命に走る姿，心を一つにして演技する姿，声の限りに仲間を応援する姿――そのひたむきな表情の一つ一つに，私は胸を熱くしておりました．温かな御声援を賜りました地域の皆様に，心より御礼申し上げます．

さて，今年の運動会は，長らく続いた九月から，この五月へと時期を移しました．その理由の一つは，年々厳しさを増す暑さから子どもたちを守る，という安全への配慮があります．快適な環境で，子どもたちに最も良い状態でパフォーマンスをしてもらいたい，そういった思いです．

けれどももう一つ，どうしてもお伝えしておきたい大切な願いが，ありました．

それは，この五月の運動会を，子どもたちが**「集団をつくる」ための場**にして欲しい，という願いです．

九月の運動会は，日頃の学習の成果を発表する，という意味合いの強いものでした．

一方，新しい学年・新しい学級が始まって，まだ一月あまりのこの五月に運動会を行うことには，別の大きな意味があります．出会って間もない仲間たちが，同じ目標に向かって励まし合い，共に汗を流していく――その日々の中でこそ，一人ひとりがつながり合い，確かな「チーム」へと育っていく，と考えています．

子どもたちがこの運動会で結んだつながりには，二つの方向がありました．一つは，同じ学年の仲間と，共に学習を重ねる中で生まれた**「横のつながり」**です．そしてもう一つは，応援団や学年を越えた演技などを通して，お兄さん・お姉さんが下学年に手を差し伸べ，下学年がその背中を慕っていく**「縦のつながり」**です．この横と縦の糸が幾重にも織り合わさって，西紀小学校という一つの集団が，より確かなものになっていくように感じています．

私が何より大切にしたいのは，「学校の行事だから，行う」のではなく，「自分たちのクラスを，学校を，自分たちの手でどう創り上げていくか」を，子どもたち自身が考えることです．自分の人生の主人公として，自分たちの集団を，自分たちで育てていく――その姿の中にこそ，この運動会の本当のねらいがあったのではないかと感じています．

運動会を終えた今，「この学習を通して，あなたは何を身につけましたか」と，子どもたちに問いかけてみたいのです．友と力を合わせる心でしょうか．最後まで諦めない強さでしょうか．それとも，異なる学年の友を思いやる優しさでしょうか．子どもたちがその手にした確かなものが，走る姿，演じる姿，応援する姿を通して，御家庭の皆様や地域の皆様の胸にも届いているのなら，嬉しいです．子どもたちが自分たちの手で結んだこの横と縦のつながりを，これからも子どもたちと共に，温かく育てていきます．

そしてまた，この縦と横のつながりは，子どもたちだけの話に留まらないと考えています．それぞれの村の中のつながりでもあり，西紀中地区という大きな村の中のつながりにも当てはまると考えています．

西紀っ子のために，私たち大人が力を合わせ，「縦と横のつながり」を強固にしていくことが，『地域が育て，地域が育つ学校』へつながっていくのだと信じています．







△７月の行事予定▽



１日（水）	明るい１日の始まり運動
	個人懇談一日目
２日（木）	委員会活動
	個人懇談二日目
３日（金）	代表委員会
６日（月）	全校朝会
	４年生スクールブリッジ
８日（水）	朝のお話会
９日（木）	クラブ活動
15日（水）	給食最終日
	全校終会12:35
16日（木）	大掃除
	全校終会11:35
17日（金）	終業式
	全校終会11:35



◎ご意見・感想をお聞かせ下さい◎

「西紀っ子だより」へのご意見や感想をお聞かせ下さい．
右のＱＲコードを読み取っていただくと，フォームにつながります．
または，学校でお話をうかがうことも出来ます．いつでもお越しください．